



きらきらかがやく

新年号

笑顔溢れるこども園に

保育室や園庭に、子どもたちの歓声がもどってきました。令和8年のはじまりです。

登園の様子を見ていますと、保護者の方がお子さんと笑顔で話されている姿に気付かされました。その笑顔に安心したのか、どの子も元気よく走り出しました。笑顔は、子どものやる気スイッチを入れる働きをしていることは確かですね。

ところで、冬休みはご家庭でゆっくり過ごしたお子さんが多かったように感じられます。休み明けの年長児の会話を聞いていますと、家族で初詣に出かけたことや、お餅をたくさん食べたこと、親戚の子と遊んだことなど、うれしそうに話していました。どうやら家族と一緒に過ごせたことがいちばん嬉しかったようです。

年始のスタートに当たり驚いたことは、登園を渋る子がいなかったことです。年末の「かがやき発表会」の取組も子どもたちにとって大きな自信となったことは言うまでもありません。

あらためて保護者の皆様のご協力に感謝いたします。本職員も保護者の皆様と同様に、笑顔で挨拶したり、語りかけたりすることを大切にしながら子どもたちと接してまいります。今後とも笑顔溢れるこども園にお力を貸していただければ幸いです。

新しいことが始まると言えば年長児です。4月からは小学校生活です。

本園は、主に北学園の1年生との交流を定期的に行っており、小学校への抵抗は少ないようですが、期待と不安が入り混じる準備期間にあたります。一人一人に丁寧な支援を行い、自信と希望をもって4月を迎えるよう取り組んでまいります。どの子も4月になれば一つ上の学級へ進みます。子どもたちにとって素敵な一年になるよう精一杯取り組んでまいります。



ところで、今年は「**午年**」です。午年の特徴は、馬がもつ力強さや速さから、何事にも積極的に取り組む傾向があるそうです。干支の中でも馬は成功、繁栄のシンボルとして親しまれてきました。午年に倣って、子どもたちも力強く逞しく成長してほしいと願っております。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



ちょっと恐かった起震車体験！！

年長児を対象に「親子起震車体験」を家庭教育学級の取組として実施しました。分かっていても初めての体験でしたので、どの子も恐かったようです。揺れているときは、何もできないことを実感しました。これからも訓練を通して、自分の命を守る行動が取れるようにしてまいります。

